



## ～言語環境を整え、1人ひとりが輝く学校づくり～

たくさんの行事があった2学期も本日で終わりますが、いかがだったでしょうか。2学期の人権教育では、9月に各学年にて人権LHRを、11月には本校に講師を招いて人権講話を行いました。今年度は差別を自分事として捉えられるように工夫しながら学習しています。概要と生徒感想(抜粋)を紹介します。

【9月】1年生「平和教育」・・・動画「海に沈んだ学友たち～沖縄対馬丸～」を視聴し、グループワークなどを通して平和について考えました。

・こんなに悲惨な歴史があったというのは知りませんでした。本当に戦争はしてはいけないし、外国での紛争など、なぜすぐやめないんだろうと思いました。

2年生「平和教育」・・・動画「消えた女学校 女子学徒たちの沖縄戦」を視聴し、グループワークなどを通して平和について考えました。

・普段、平和について考えることもあまりないので、平和について考える時間を作りたいと思った。

3年生「言わない・書かない・提出しない」取り組み・・・模擬面接やスライドを通して面接における違反質問を考え、差別はする側の問題である事を確認しました。

・今でもそういった質問はあるようなので、他人事と考えず、自分や後に続く人たちのためにも報告などをして取組みに貢献しようと思う。

### 【11月】人権講話「水俣病差別」

水俣病患者家族の杉本肇さんより、水俣病の原因や患者家族として過ごした幼少期について語っていただきました。

- ・今回の講話で「受け入れる覚悟」というものが心に残った。
- ・講話を聞いて、生きることに精一杯で考える時間もないくらい辛い環境にいたことを知りました。そんな中でも弟や親の心配委をして面倒を見たことがすごいと思いました。
- ・自分がもしその立場なら少なからずうらんでしまうと思ったけど、杉本さんはうらんでないとおっしゃっていて、とても優しい方なんだと思いました。



### 人権コラム「第20回やまが人権フェスティバルに参加して」

11月9日(土)、山鹿市民交流センターにて行われました。男女共同参画フォトコンテストの表彰、人権擁護委員による発表、市内で働いている人から山鹿への思いを語る仕事の流儀、日本語クラブ受講生による発表、ALTによるトークセッションが行われました。日本語クラブ受講生による発表では小学生も発表するなど、とても温かい雰囲気が進んでいきました。外国人ALTとのトークセッションでは、申請書類の記入例などが日本語のみが多いことや街中でのゴミ箱の設置数が少ないことなど、外国人からみた不便な視点について新たな気づきとなりました。また、当日は山鹿市内の5校の高校生が司会を務めました。本校からも2人の生徒が司会を行い、トークセッションではフロアからの意見や質問などにマイクを持っていく役割など多岐にわたって頑張っていました。

